

今週の感染症発生動向

◆ 感染性胃腸炎の発生は、さらに増加

★一類～五類全数報告感染症の発生状況 (第48週)

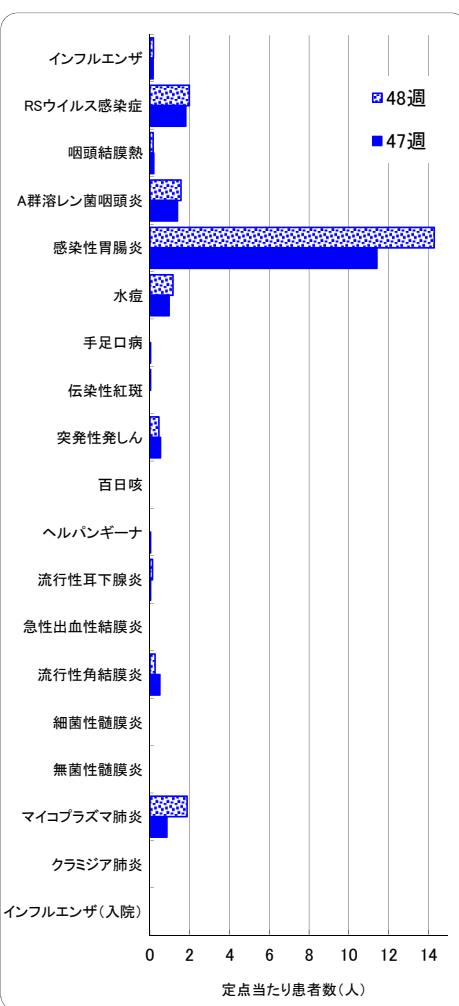
- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 6名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---報告はありません

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

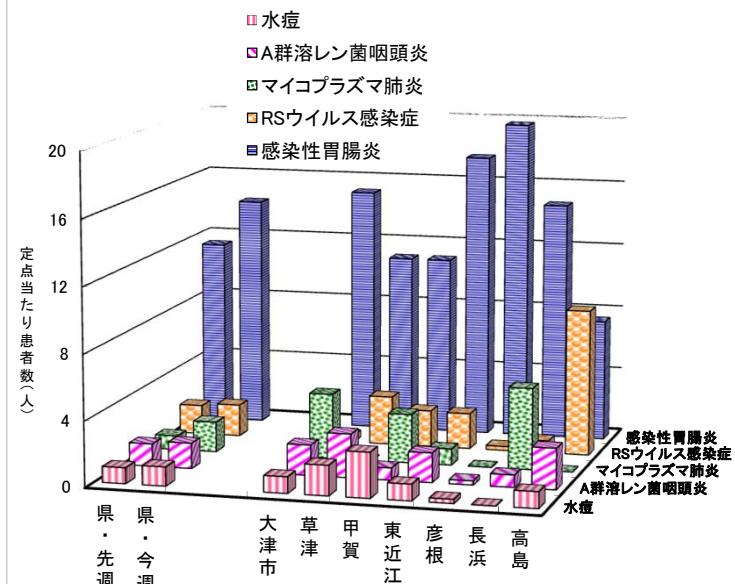
下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(536名)より増加し、今週は655名となっています。今週、増加した疾患は感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎、A群溶レン菌咽頭炎等で、減少した疾患は、突発性発しん、流行性角結膜炎等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスにおける、インフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」に基づく警報および注意報の発生基準値を超えている疾患はありません。



上位疾患の保健所管内別発生状況(第48週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②RSウイルス感染症、③マイコプラズマ肺炎、④A群溶レン菌咽頭炎、⑤水痘の順に多くなっています。

感染性胃腸炎-----甲賀、東近江、彦根および長浜保健所管内で、先週より増加しています。草津、高島は、減少し、大津市は横ばいです。

A群溶レン菌咽頭炎-----大津市、草津、東近江および高島からの報告が多くなっています。

マイコプラズマ肺炎-----大津市、甲賀および長浜からの報告が多くなっています。

RSウイルス感染症-----草津、甲賀で先週より増加しました。

高島では、先週と同様に報告が多くなっています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ことになります。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年累積報告数		平成23年累積報告数 ^(*1)		平成22年累積報告数 ^(*2)	
		滋賀(48週)	全国 ^(*3) (48週)	滋賀	全国 ^(*3)	滋賀	全国 ^(*3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	243	26,563	338	31,467	251	26,866
三類感染症	コレラ	0	3	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	201	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	37	3,660	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	20	0	23	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	107	0	61	0	66
	A型肝炎	1	156	0	176	3	347
	オウム病	0	6	0	13	1	11
	つつが虫病	1	321	1	461	2	407
	デンゲ熱	1	210	1	104	2	244
	マラリア	2	71	0	78	0	73
	レジオネラ症	9	814	12	819	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	13	839	2	814	7	843
	ウイルス性肝炎	3	205	1	249	3	221
	急性脳炎	3	326	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	164	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	229	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	9	1,287	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	1	67	1	68	1	77
	梅毒	1	797	6	827	9	621
	破傷風	0	104	1	114	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	85	0	73	2	120
	風しん	12	2,137	2	374	5	87
	麻しん	1	284	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第43週～48週、10/22～12/2)



* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第48週、11/26～12/2)

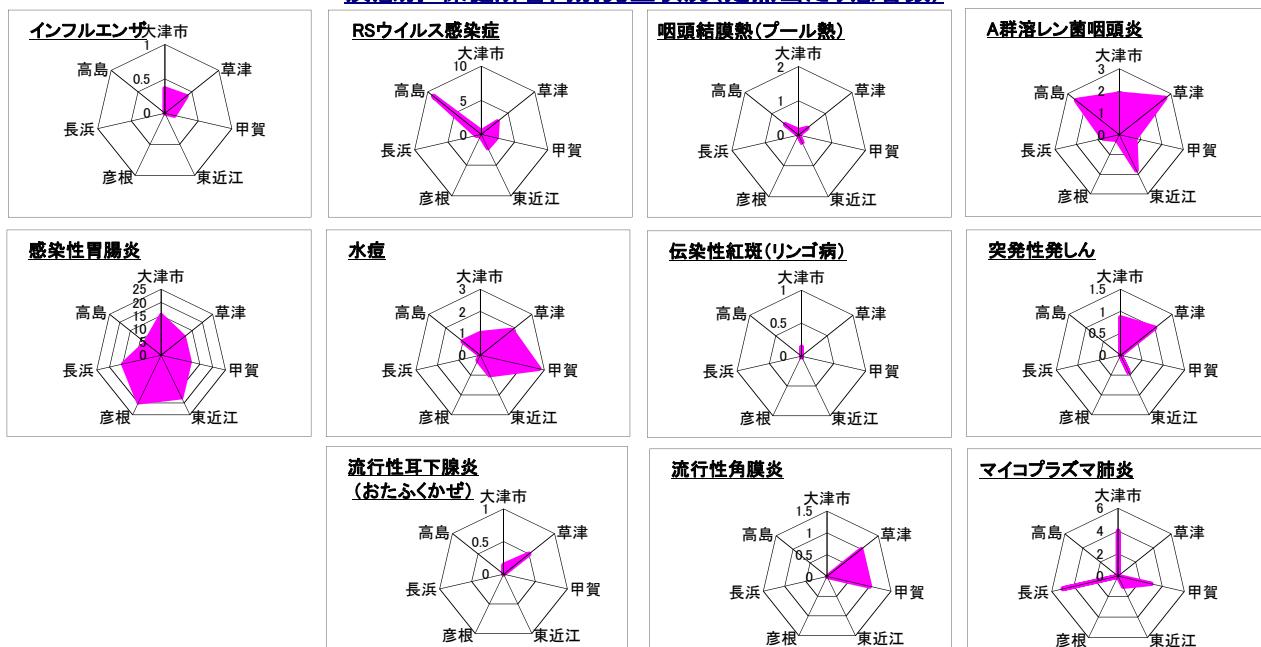
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.17	0.36	0.40	0.14	0	0	0	0	■
RSウイルス感染症	1.97	0.43	3.00	2.25	2.20	0.25	0.75	9.00	■
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0.14	0.33	0	0.20	0	0	0.50	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.56	1.86	2.67	0.75	1.80	0.25	0.75	2.50	■
感染性胃腸炎	14.28	15.14	11.00	11.00	17.60	19.75	14.75	7.50	■
水痘	1.16	1.00	1.83	2.75	1.00	0.25	0	1.00	■
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	■
突発性発しん	0.44	0.86	1.00	0	0.40	0	0	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	■
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	■
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.13	0.14	0.50	0	0	0	0	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
流行性角結膜炎	0.25	0	1.00	1.00	0	0	0	0	■
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
マイコプラズマ肺炎	1.86	4.00	0	3.00	1.00	0	5.00	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	■
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	■

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えていました。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えていました。

0 2 4 6 8 10 12 14
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



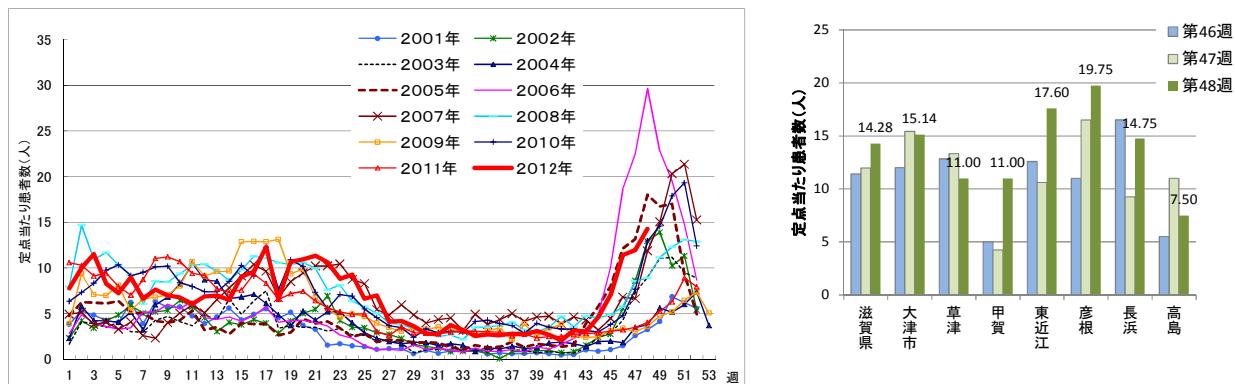
(3)今週の発生状況

- 水痘 <水痘> 大津市および草津で報告が増加しています。
- 突発性発しん <突発性発しん> 報告は大津市および草津からあり、先週と同じ状況です。
- 流行性耳下腺炎 <流行性耳下腺炎> 報告は大津市および草津からあり、先週と同じ状況です。

3. その他

感染性胃腸炎の発生状況(平成13年第1週～平成24年第48週、H13.1.1.～H24.12.2)

保健所管内別発生状況(平成24年第46～48週)



疾病別定点当たり患者数(平成24年第48週、H24.1.2～H24.12.2)

